

112 さあ 主の家に行き

さあ 主の家に行き

賛美をささげよう

み前に進み 感謝をささげよ

喜びの声と 感謝に満ちあふれ

賛美の歌を み前にささげよ

## 52 こんな時

こんなとき イエスさまに

愛のうたをうたう

こんなとき 手をあげ

手を主にあげる

主よ愛します 主よ愛します

心こめて愛します

新聖歌280番 「神はわがやぐら」

- 1 神はわがやぐら わが強き盾(たて)  
苦しめる時の 近き助けぞ  
おのが力 おのが知恵を 頼みとせる  
陰府(よみ)の長(おさ)も など恐るべき
- 2 いかにも強くとも いかでか頼まん  
やがては朽(く)つべき 人の力を  
われと共に 戦いたもう イエスキみこそ  
万軍の主なる 天(あま)つ大神(おおかみ)

【次】

新聖歌280番 「神はわがやぐら」

- 3 悪魔 世(よ)に満ちて よし威(おど)すとも  
神の真理(まこと)こそ わが内にあれ  
陰府(よみ)の長(おさ)よ 吠(ほ)えたけりて  
迫りくとも 主のさばきは 汝(な)が上にあり
- 4 暗きの力の よし防ぐとも  
主のみ言葉こそ 進みに進め  
わが命も わが宝も 取らば取りぬ  
神の国は なおわれにあり

アーメン

## 使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、  
三日目に死人のうちよりよみがえり、  
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。  
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。  
われは聖霊を信ず。  
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、  
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、  
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌98番 「 緑(みどり)も深き 」

- 1 みどりも深き 若葉の里 ナザレの村よ  
汝(な)がちまたを 心きよらに 行き交いつつ  
育(そだ)ちたまいし 人を知るや
- 2 その頭(こうべ)には 冠(かむり)もなく その衣には  
飾りもなく 人の住まいを ととのえつつ  
主は若き日を 過ぎたまえり
- 3 人の子イエスよ きみの御名を み使いたちの  
ほむる時に 恵みに匂(にお)い 愛に香(かお)る  
み足の跡(あと)を われは辿(たど)らん

アーメン

## 主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの  
おお みかみに

ときわに たえせず  
みさかえあれ  
みさかえあれ  
アーメン